

## 令和3年度事業報告及び決算について

(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会

### 1 献眼登録管理事業

角膜移植を推進するため、眼球を提供いただける方103名の登録を行い、アイバンク登録票を発行した。

### 2 角膜移植推進事業

#### (1) 角膜のあっせん業務

ライオンズクラブ（献眼委員・アイバンクサポーター）、医療機関（摘出医、主治医、院内コーディネーター）、信大医学部（眼科医教室）、検査機関等連携のもと、角膜のあっせんを行った。

献眼者 7名 角膜あっせん数 19件

#### (2) 角膜移植の推進体制の充実

##### ア 眼球摘出セットの貸与・配置

医療機関に貸与のほか、3ライオンズクラブ（松本深志、飯田、佐久）に配置。

##### イ 眼球搬送箱の管理

42箇所に配置している眼球搬送箱の薬剤の管理を適正に行った。

### 3 臓器移植啓発普及事業

(1) 献眼をはじめ臓器移植に対する理解を深めるため、長野県腎移植推進協議会、長野県透析研究会及び長野県透析医会とともに「臓器移植普及推進事業実行委員会」を組織し、次の事業を実施した。

・長野県民を対象に臓器移植の理解と臓器提供意思表示の普及啓発を目的としたテレビCMの放送

R3.10月に毎日1回、31回放送

・上記CMデータの関係機関への配布

県薬剤師会、医療機関、県庁、市町村等15箇所

・テレビニュース内での臓器移植に関する特集を2回放送

R3.10月

(2) 表彰等 (敬称略)

ア 理事長の感謝状贈呈

- 献眼者(ご遺族) 7名
- 摘出医師  
間宮和久 様
- 献眼業務を的確に処理されたライオンズクラブ等  
服部公威 様(松本深志ライオンズ)  
藤村重由 様(松本深志ライオンズ)
- 多額の寄付をした団体  
ライオンズクラブ国際協会334-E 地区

イ 摘出協力病院への礼状

ウ 献眼者家族への礼状

(3) 関係諸団体との情報交換

(公財)日本アイバンク協会、都道府県臓器移植推進組織協議会などのWeb会議等に参加した。